

報道関係者各位

**ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ
アジア国債・公債インデックス・ファンドを6月に東証へ上場**

**日本初の債券連動型 ETF
日本の投資家に新たな分散投資の選択肢を提供**

【東京発、6月5日】ステート・ストリート・コーポレーション(NYSE:STT)の資産運用部門であり、世界最大の機関投資家向け資産運用会社*であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(SSgA)は本日、上場投資信託(ETF)「アジア国債・公債* ETF」(正式名称:ABF 汎アジア債券インデックス・ファンド)について、株式会社東京証券取引所より上場が承認されたことを発表しました。アジア国債・公債 ETF は、東証に上場する初めての債券連動型 ETF で、銘柄コードは 1349、上場予定日は 6 月 19 日(金)です。

アジア国債・公債 ETF は、アジア 8 つの国と地域(中国・香港・インドネシア・韓国・マレーシア・フィリピン・シンガポール・タイ)の現地通貨建て国債および公債(準国債)に投資します。運用は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・シンガポールが行います。ベンチマークは、iBoxx ABF Pan-Asia Index(ABF 汎アジアインデックス)です。アジア国債・公債 ETF は、アジア債券連動型 ETF として、2005 年 7 月 7 日、香港証券取引所に上場されており、今回の東証への上場は重複上場となります。アジア国債・公債 ETF に関する詳細はウェブサイト(www.abf-paif.com、英語)をご覧ください。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の代表取締役社長、山本幸次は次のように述べています。「世界有数の証券取引所である東京証券取引所に、初めての債券連動型 ETF となる『アジア国債・公債 ETF』の上場が承認されたことを非常にうれしく思います。『アジア国債・公債 ETF』は 8 つの国・地域の国債および公債**に一度に投資でき、分散投資に有効なツールとなり得るでしょう。日本の投資家の皆様に、新たな資産クラスをご提供できるようなることを、大変光栄に思います。」

*出所:Pensions & Investments 誌 2008 年 12 月 31 日付

**「公債」は、準ソブリン債(準国債)を指します。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(SSgA)について

ステート・ストリート・コーポレーションの資産運用部門であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(SSgA)は、全ての資産クラス、投資手法、スタイルを網羅する投資戦略およびソリューションを全世界の顧客に提供しています。米国マサチューセッツ州ボストンを本拠に 1.4 兆米ドルの運用資産を有し(2009年3月31日現在)、香港、ロンドン、ミラノ、モントリオール、ミュンヘン、パリ、シンガポール、シドニー、東京、そしてチューリッヒに主要業務拠点を、また世界 27 都市に事業拠点を構えています。さらに詳細な情報については、SSgA のウェブサイト www.ssga.com をご参照ください。

ステート・ストリート・コーポレーションについて

ステート・ストリート・コーポレーション(NYSE: STT)は、世界の機関投資家を対象に、資産管理や資産運用サービス、インベストメント・リサーチとトレーディング・サービスを提供する世界有数の金融機関です。米国ボストンを本拠に、世界で 11.3 兆米ドルのカストディー資産と 1.4 兆ドルの運用資産を有し、世界 27 ヶ国、100 以上の地理的市場で業務を展開しています(2009年3月31日現在)。詳細については、ステート・ストリートのウェブサイト www.statestreet.com をご参照ください。

※当プレスリリースに含まれる情報は有価証券の取引の勧誘を目的としたものではありません。

お問い合わせ:

ステート・ストリート株式会社

広報: 榊原 優

TEL: 03-4530-7487(直)